

しよくパンがだいすきな、 おつか けんた 大塚 健太

しかくいakaのおうさま

ここはパンパカパンおうこく。
このくにのおうさまは、しよくパンがだいすきです。

きょうもあしたもあさつても、あさもよるもおやつまで、まいにちしよくパンばかりたべています。あんまりしよくパンばかりたべるからか、しよくパンのようなくいかおをしています。

「んー、いったべても、おいしいなあー!!」

おうさまはしよくパンをやいてもやかなくても、なんにもぬらずにそのままたべます。それでいつもだいまんぞくなのです。

パンパカパン!!

ラッパのおとがひびきわたりました。きょうはおうさまのたんじょうび。くにじゅうがおいわいムードです。

すると、おうさまがいました。

「たんじょうびくらいは、しよくパンになにかをぬって

ジャムだ。ジャムがゆうしょうだ!」

そういったかとおもうと、

「おお! なんておいしいバターなんだ! やいたしよくパンにびったり! バターがゆうしょう!」

「おお! こんなおいしいもの、たべたことない。はちみつがゆうしょうにきまり!」



おうさまはいろんなものをしよくパンにぬってたべては、「ゆうしょうゆうしょう」といふばかり。

それをみていたけらいたちが、とうとうあきれていました。

「おうさま。ゆうしょうはひとつだけにしてください。おうさまがいちばんおいしいとおもったものは、なんでしょうか?」



たべてみたいものだ」

そしておうさまがパン! と、てをたたいていました。

「よし! きょうはこれから『パンにぬるものせんしゅけん』をかいさいしよう! いちばんおいしかったものには、ごほうびをやるぞ。ごほうびは、しよくパン! ねんぶん!」

さつそく、くにじゅうのひとたちが、じまんのてづくりジャムやバターをもってきました。ほかにもはちみつ、ピーナツクリーム、チョコレート、あんこにマヨネーズ、たまごサラダなどなど。なかにはソーセージや、めだまやき、ハンバーグなど、ぬるものじゃないものまであつまりました。

「おお! ワンダフル、パンダフル! これはおいしい

けらいにいわれて、おうさまはパンパン! と、てをたたいてたちあがりました。

「わかった。ゆうしょうは……」

くにじゅうのひとが、おうさまのことばにみみをかたむけました。すると……。

「やつぱりしよくパンは、なんにもぬらないのがいちばん! だからそのままのしよくパンがゆうしょうだ!」

「えー……!」

パンパカパン!!

けつきよく、おうさまは、しよくパンになにもぬらずにたべることにしました。しかも、たんじょうびだからって、いつもよりたくさん。

「んー、こうばしいパンのにおい。やつぱりそのままがいちばん!」

しかくいakaおをにんまりさせて、よろこびました。

ところで、みんなはしよくパンになにをぬってたべるのが、いちばんすきな? このおはなしをかいているわたしは、マーマレードがすきですよ。 (おしまい)